



日本のエネルギー戦略などで講演する高木雄次さん＝多治見市本町、東濃信用金庫本店

日本の資源情勢探る

東信経済倶楽部が講演会 多治見市

東信経済倶楽部の第1理事長の高木雄次さん、394回講演会が12日、多治見市本町の東濃信用金庫本店で開かれ、笹川平和財団

日本だが、技術力を駆使すれば、エネルギー、環境分野を成長戦略の柱にできる潜在能力がある」などと語った。

同講演会は同信金の取引先企業を対象に開かれ、約100人が出席した。

高木さんは「原発事故に象徴されるように一つの電源に過度に依存するのは危険な選択」と指摘、多様なエネルギー源を持つ必要性を訴えた。その上で「日本の周辺海域にあるメタンハイドレートは原発に代わる国産エネルギー源の目玉になり得るし、波力や潮力を利用した海洋発電システムは、技術立国の日本に大きなチャンスを生む」と語った。

また高木さんは「21世紀の日本の成長産業分野は環境、健康、科学技術、観光であり、この『4K』を基軸に将来ビジョンを描いていかなければならない」と結んだ。

(岡田敬史)